

# 素敵に輝け！

## 問題解決の一步

「コン、コン」昼休みに校長室の戸を叩く音がしました。「どうぞ」と声をかけましたが誰も入ってこないの戸を開けると、1年生のAさんが立っていました。「聞きたいことがあります」とのことでした。「どうぞ」と迎え入れ話を聞きました。

話の内容は「どうして1年生はカップを着るのですか」というものでした。「それはね・・・」と私は大きさの違う3冊の本と鉛筆削りを使って、「これ（本）を人とします。これ（鉛筆削り）をランドセルとします」として、それぞれの本に鉛筆削りを当て、「小さい学年の人がランドセルを背負うとランドセルが大きく感じるね。大きいのを背負っているのに傘を持つとふらふらして倒れそうになったとき手をつけないね。だから両手を使えるようにカップを着ています」と伝えました。すると「分かりました」と部屋を出て行きました。

その後すかさず、またノックの音がしました。戸を開けると、今度は1年生のBさんが、「話をしたいんだけど」と入ってきました。「いいよ。どうぞ」と言うと、「校長先生は、休みの日に何をしていましたか」と聞かれたので、「家の仕事をしてから、本を読んでいたよ」と答えました。すると今度は「どんな本を読みましたか」と聞かれ、「いろんな本を読んだよ。学校の本も読んだし、仏さまの本も読みました」と答えました。Bさんは、相手の答えを受けて上手に更に質問してきました。逆に、「日曜日、何をしていたの」と聞くと「家族とごろごろしていました」との返答でした。「休みの日だから、それもいいよね」と言うと、ニコッと笑顔になりました。Bさんは「Cさんもくるかもしれん」と言っていました。来室は二人だけでした。

二人は純粋に「聞いてみたい」と思ったことを聞きに来てくれたのでしょう。その純粋な気持ちが学習に繋がるような気がします。

分からないこと、もっと知りたいことがあったら、何とかして情報を得たいと思いますよね。その方法には、「調査に出かける」「本で調べる」「知っている人に聞く」などがあり、加えて今では「インターネットで調べる」なども加わると思います。第一に知ることができる方法を考えることが大事になり、それらを駆使して何とかして情報を得ることが大事なのではないでしょうか。今回、1年生の二人が「聞いてみたい」と思ったことを聞きに来てくれたのは、問題を解決する学習方法に繋がる貴重な一步になったかもしれません。